

会 議 録 (概要)

会議の名称	令和４年度第１回ベストミックス構築部会
開催日時	令和４年９月２１日（水） 午後１３時００分開会 午後１４時００分閉会
場所	Web 開催（佐渡市役所　３階　大会議室）
議題	（１）戦略部会の構成・主な検討テーマ・検討成果の例 （２）戦略部会での検討事項に関する意見交換
会議の公開・非公開	公開
出席者	佐渡ガス(株) 佐渡市地域循環社会推進協議会 (株)アドバンテック 渡辺産商(株) 佐渡連合商工会 (株)第四北越銀行 <事務局> ・佐渡市　総合政策課　地域エネルギー係　係長　渡部達也 総合政策課　地域エネルギー係　主事　北見航希 ・大日本コンサルタント(株)
会議資料	別紙のとおり
傍聴人の数	０人
備考	

会議の概要（主な発言等）

1 開会

2 部会長の選任

- ・事務局案のとおり、佐渡連合商工会事務局長を部会長とすることで承認を得た。

3 議題1) 戦略部会の構成・主な検討テーマ・検討成果の例

- ・事務局より説明。

議題 2) 戦略部会での検討事項に関する意見交換

- ・利活用促進部会では、利用側の意見が出され集約は出来なかったが、ベストミックスの方はエネルギー導入の大方針の検討と思っている。東北電力のカーボンニュートラルに向けた動きに応じて進めていくのが重要と考えている。
- ・自然エネルギーの活用、特にバイオマスの活用ができないか検討してきた。バイオマスだけでなく太陽光など、ベストミックスが重要である。離島特有の難点があり、東北電力を中心にどのように EMS を構築するのかが課題と認識する。
- ・どのように新しい電源をミックスして充足させていくのかイメージを持つことが必要。そのためには必要なベース電源や再エネ、天然ガス、水素等新しいものにもトライしていくことが必要だが、まずは現状把握と将来像を共有することが重要である。基本的には EMS を小さい範囲で実証・運用することが考えられ、弊社の実績もお示ししながら議論ができればと思う。事業としていかに継続して運営していけるのかがポイントと考えている。
- ・現状把握と、脱炭素先行地域の達成に向けた絵を描いていくことが重要だと思う。佐渡として何をやっているのかの情報発信として、早めに成果を出すことも必要と思う。さらに、節電といったやれるところからやることも必要である。風力、バイオマス、水力など、様々な電源について話ができればと考えている。
- ・検討項目ごとに目標設定を行い、達成に向けたロードマップを示していくことが重要と考えている。また、地域新電力の設置や運営に係る組織作りの検討を進めることも重要と考えている。
- ・島構想の中で現状の電力量やポテンシャル等が整理されているため情報提供は可能である。
- ・送配電事業者との協議が必要となるが、地域新電力設置に向けては制約状況、レギュレーションを把握したうえで議論を進めていくことが重要と思う。
- ・地域新電力設置の制約について、火力発電が 9 割以上となっているが、調整力としてみた場合にどの程度再エネが入るのかの確認が必要となる。
- ・再エネを安定化するために蓄電池の導入を行うことで、東北電力としても負担の軽減が図られると思うが、それに向けては協議が必要となる。
- ・次回は具体的議論を進めるためのインプットの会としてもらえればと思う。地域新電力については東北電力との協議が必要になると思われるが、現状把握をしたうえでどのような協議をしていくのかについても考える必要がある。進捗に応じた情報提供とさせていただきたい。